

---

TOEFL iBT  
Writing Test Preparation  
Independent Task

添削でスコアアップ！

**Practice Makes Perfect**



英語英文添削センター

ABSOLUTELY CONFIDENT ENGLISH

<http://www.eigo-nikki.com>

<b>1章</b>	<b>TOEFL とは</b>	.....	Page 3
	年間70～100万人が受験する英語力判定テスト 2006年5月から iBTに変更		
<b>2章</b>	<b>ライティングテスト Independent Task とは</b>	.....	Page 4
	エッセーの設問（トピック）は選択肢なし タイピングの機能は限られている 採点方法 設問を知ること、採点基準を知ることが攻略の鍵		
<b>3章</b>	<b>評価されるポイントはココ！</b>	.....	Page 5
	ETS が公開している採点基準 ポイントを押さえてスコアを上げる！ 専門知識は不要 採点者は1～2分で採点する！		
<b>4章</b>	<b>与えられた時間はこう使う！</b>	.....	Page 7
	いきなり書かない 試験時間30分の使い方		
<b>5章</b>	<b>情報整理が成功の鍵</b>	.....	Page 8
	メモ用紙を使って情報整理する アウトラインを作成する マッピングを作成する エッセーを完成する		
<b>6章</b>	<b>エッセーは難しくない！</b>	.....	Page 12
	エッセーは3つのパーツで書く 序論 ・ 本論 ・ 結論		
<b>7章</b>	<b>つなぎ言葉で論旨の流れをつくる</b>	.....	Page 14
	接尾詞・転換語		
<b>8章</b>	<b>設問のタイプと対策を押さえる</b>	.....	Page 15
	設問の4タイプ Type 1 - 4 対策 ・ 問題例 ・ 回答例		
<b>9章</b>	<b>注意すべき5つの文法ポイント</b>	.....	Page 22
<b>付録</b>	<b>使える「つなぎ言葉」</b>	.....	Page 25

## 1. TOEFL とは

→ 年間 70 万～100 万人が受験する英語力判定テスト

TOEFL は、Test of English as a Foreign Language の略で、世界規模で実施されている、英語を母国語としない人たちの英語力を判定する試験です。ほとんどの英語圏の大学や短大が TOEFL スコアを入学審査の必須条件としています。そのため、留学を志す方は志望校が目安としている TOEFL スコア合格ラインを突破することが、まず大切です。また、TOEFL を昇進の際に英語力判定の基準として用いている企業もあります。TOEFL は、米国の ETS という非営利組織が作成しています。

→ 2006 年 5 月から iBT に変更

TOEFL iBT (Internet-Based Testing) は、約 4 時間かかるテストで、Reading、Listening、Speaking、Writing の 4 つから構成されています。下記の表で所要時間に関係があるのは、出題される問題内容・数に個人差が生じるためです。

iBT 以前のテスト (CBT コンピュータ・アダプティブ形式) との違いは、4 技能を総合的に組み合わせ、実際のコミュニケーション能力を図る新世代テストである、とされています。ライティングセクションも、以前は 30 分間にエッセーを 1 点作成するだけでしたが、iBT になってからは Integrated Task と呼ばれる、Reading、Listening、Writing の 3 技能を組み合わせられた問題が加わりました。

<b>Reading</b> (60-100 分)	アカデミックな長文読解問題 (3-5 題)	スコア 0-30
<b>Listening</b> (60-90 分)	講義形式の問題 複数人物による会話の問題 (6-9 題)	スコア 0-30
<b>Speaking</b> (20 分)	読み、聞いた内容に関して口頭で回答する問題など 2 種類 (計 6 題)	スコア 0-30
<b>Writing</b> (50 分)	読み、聞いた内容に関して文章で回答する問題 (Integrated Task) 身近なトピックに関してエッセーを作成する問題 (Independent Task)	スコア 0-30

本講座は、Writing のうち、Independent Task と呼ばれる「身近なトピックに関してエッセーを作成する問題」に対応するものです。

## 2. ライティングテスト Independent Task とは

最後の Writing セクションで行われる、エッセー（小論文）作成テストです。TOEFL がペーパーテストだった時代は、受験する・しないを選択できましたが、CBT では必須科目になりました。当時は、タイプまたは手書きの選択肢がありましたが、iBT では手書きはできず、タイプのみ可能になりました。

### → エッセーの設問（トピック）は選択肢なし

トピックは、問題プールから無作為に抽出された 1 問しか出題されませんので、選択肢はありません。会場の受験者全員が同じ問題に取り組みむこととなります。

### → タイピングの機能は限られている

自動スペルチェック、文法チェック機能はありません。エッセーを書き終わったら、自分の目で間違いを直す時間をとりましょう。若干のスペルミスや句読点・文法ミス、深刻でない誤りであればスコアに悪影響を与えないと言われています。

### → 採点方法

エッセーの採点は、0 - 5 点です。通常は 2 名の採点官が採点し、その平均点が最終スコアになります。受験者は、最終的な点数しか見ることができません。

### → 設問を知ること、採点基準を知ることが攻略の鍵

人間の能力を測ることは非常に難しいものです。TOEFL も万能の英語力判定試験とはいえないかもしれませんが、高得点を取るためには、知っておくべきことが 2 つあります。それは、

1. 設問を知ること
2. 採点基準を知ること

です。いわば、「敵を知る」ということです。ボキャブラリーが豊富で、文法を完全マスターしていたとしても、エッセーで高得点をとるには不十分です。TOEFL エッセーの「書き方」を会得することが必要なのです。

### 3. 評価されるポイントはココ！

→ ETS が公開している採点基準

5点	<p>以下の全てにほとんど該当する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 効果的にトピックとタスクに対応している</li> <li><input type="checkbox"/> 構成・展開がよく、説明、例示、詳細が適切で明確である</li> <li><input type="checkbox"/> まとまり、発展、首尾一貫性を示している</li> <li><input type="checkbox"/> 英語を使いこなしており、句読点にバリエーションがあり、語彙、イディオムを適切に使用している。語彙や文法に深刻ではないエラーがある場合もある</li> </ul>
4点	<p>以下の全てにほとんど該当する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> トピックやタスクに上手く対応しているが、一部十分に説明されていない</li> <li><input type="checkbox"/> 説明や例示、詳細が十分で、全般的に構成・論理展開がある程度出来ている</li> <li><input type="checkbox"/> まとまり、発展、首尾一貫性を示しているが、重複や脱線があったり関連性が不明確な部分がある</li> <li><input type="checkbox"/> 英語を使いこなしており、句読点のバリエーションや語彙の幅を示している。構成、語形、イディオムなどに誤りがあるが、意味を不明瞭にするようなものではない</li> </ul>
3点	<p>以下の項目の1つ以上に該当する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> トピックやタスクに対応しており、ある程度、説明・例示ができており詳細を加えている</li> <li><input type="checkbox"/> まとまり、発展、首尾一貫性は認められるが、アイデアの関連性がしばしば不明瞭である</li> <li><input type="checkbox"/> 文型や語彙選択が統一されておらず、明瞭性に欠け、意味が通じない部分がある</li> <li><input type="checkbox"/> 統語構成（句読点）と語彙のバリエーションが乏しい</li> </ul>
2点	<p>以下の項目の1つ以上に該当する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 展開が不十分でトピックやタスクに返答していない</li> </ul>

	<input type="checkbox"/> 構成が不十分、またはアイデアの関連性が低い <input type="checkbox"/> 例示、説明、詳細が不適切または不十分であるため、論旨をサポートしていない、または一般化していない <input type="checkbox"/> 不適切な語や語形が目立つ <input type="checkbox"/> 文構造などにエラーが多い
<b>1点</b>	以下の弱点が1つ以上あり、エッセーに重大な欠陥がある <input type="checkbox"/> 文章の構成がなされていない、または発展がない <input type="checkbox"/> 具体例が無いまたは乏しい、トピックとは無関係の具体例を挙げている、またはタスクへの対応に問題がある <input type="checkbox"/> ひどい誤りが多い
<b>0点</b>	<input type="checkbox"/> 何も書かれていない <input type="checkbox"/> 問題文を書き写しただけである <input type="checkbox"/> 問題に関連がない、英語以外で書かれている、単にアルファベットを羅列している

→ ポイントを押さえてスコアを上げる！

- ✓ 主張を明確に
- ✓ エッセーのスタイルに従って
- ✓ 的確な具体例を挙げながら
- ✓ 論理を構成し
- ✓ 正しい文法で

文章が書ければ、高得点になりやすいです

**【独断は危険】**  
 書いたものを一人よがりに判断するのは危険です  
 採点基準を理解しているネイティブ講師の評価を受け、事前に弱点を知って、強化することが肝心です

→ 専門知識は不要

ETS は出題する全ての課題について、専門的な知識を要求しないとしています。しかしながら、課題は無作為で出され、かつ選択できないので、幅広い一般教養的なことや論旨を裏付けるような自分の経験を臨機応変に書けるチカラは必要になります。

→ 採点者は1-2分で採点する！

エッセーの採点者はすべて ETS のトレーニングを修了した人です。前述の採点基準に従って短時間で大量のエッセーを評価・採点できるよう訓練されています。受験者が自分の主張を凝った難解な言い回しで述べても、「言いたいことを明瞭に述べていない」と見なされてしまいます。また、主張や具体例の内容自体が優れているかどうかは評価の対象とはなりません。

#### 4. 与えられた時間はこう使う！

→ いきなり書かない

前述の通り、エッセーは最後に登場し、配分されている時間は30分です。この頃には、集中力のピークは過ぎているはずですので、適当に書き始めてしまうと、主題から逸れたり、時間に焦って修正作業に慌てふためくことになりがちです。従って、「書き始める前に何をするか」が重要なのです。

→ 試験時間30分の使い方

予め時間配分を決め、落ち着いて、順を追ってキチンと作業しましょう。配分としては、7分+6分+16分+1分がお勧めですが、練習を繰り返しながら自分なりに調整してください。

時間	作業	ポイント
7分	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 問題文をよく読む</li> <li>✓ 主張（立場）を決める</li> <li>✓ 大まかな流れを決める</li> </ul>	<p>メモ用紙を使ってブレインストーミングする</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 主張を決めずにブレインストーミングすると時間が掛かるので、問題文を読んだらすぐに主張（agree や disagree 等）を決める</li> <li>• 論点をカテゴリー分けして、エッセーに使う内容を取捨選択する</li> <li>• 数多くアイデアが出たら、説得力があるものだけを選ぶ</li> <li>• 全体の流れ、パラグラフの順番を決める</li> </ul>
6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 序論と結論の骨格をタイプする</li> </ul>	<p>出だし3センテンス（序論）と最後の3センテンス（結論）を先にタイプしておき、後から論旨がぶれないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 序論：書き手の主張を明確にする</li> <li>• 結論：序論を踏まえながら結論を書く</li> </ul>
16分	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 本文をタイプする</li> </ul>	<p>なるべく3つの具体例を選び、3つのパラグラフで構成する</p>
1分	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 見直し・エラー修正</li> </ul>	<p>大まかな変更する時間はないので、スペルミス・文法のチェックに留める</p>

## 5. 情報整理が成功の鍵

### → メモ用紙を使って情報整理する

始めに行うブレインストーミングが非常に重要です。自分の立場（主張－賛成・反対等）を決め、その主張をサポートする材料を書き出し、最強な3つを決めましょう。その際、使いたいキーワードも出しておくといいでしょう。

メモ用紙を使って、エッセーの骨格を決める方法を紹介します。

## → アウトラインを作成する

「アウトラインを作成する」ということは、短い文章やキーワードを箇条書きに書き出すことです。

### 序論（書き出し）

- トピック
- メインアイデア（自分の意見）

### 本論

- アイデア（自分の意見を裏付けるもの） 1
- アイデア（自分の意見を裏付けるもの） 2
- アイデア（自分の意見を裏付けるもの） 3

### 結論

具体的な例を使って、アウトラインを作成してみます。

#### 問題文

The twentieth century saw great change. In your opinion, what is one change that should be remembered about the twentieth century? Use specific reasons and details to explain your choice.

- ここでは、メインアイデア（自分の意見）を「**Medical advances are the most important changes**（医療の発達が最も重要な変化である）」と決めます。そして、それを裏付ける、3つの **supporting examples** が出てきました。
  1. **Vaccines and antibiotics** ワクチンと抗生物質
  2. **Access to health care** 医療機関へのアクセス
  3. **Surgical techniques** 手術技術

これらは、下記のようにアウトラインとしてメモ用紙に書きます。

### 序論

トピック

- lots of important changes during the twentieth century
- technological and cultural

メインアイデア（自分の意見）

- most important is the advances in medical science

### 本論

1. Vaccines and antibiotics ワクチンと抗生物質
2. Access to health care 医療機関へのアクセス
3. Surgical techniques 手術技術

### 結論

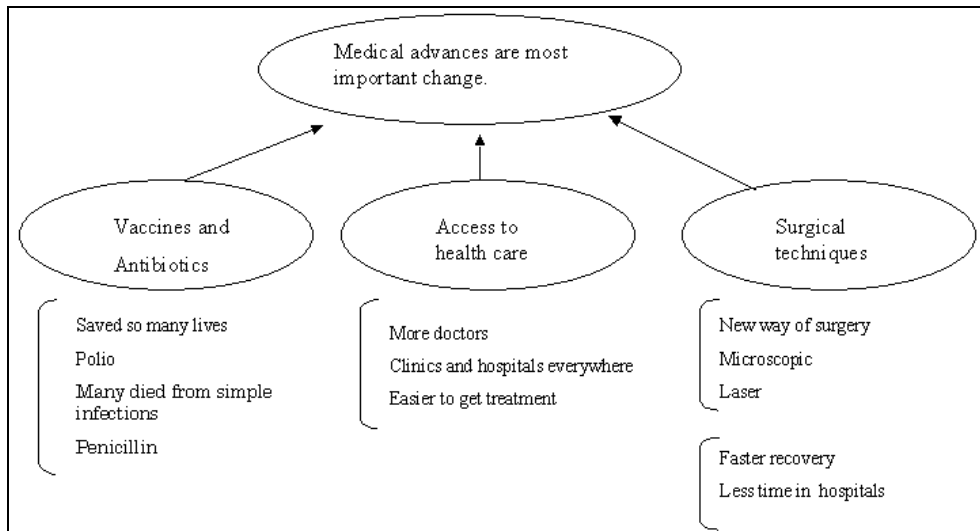
- Everybody needs good health
- Advances in medical science improved the lives of people
- Beneficial to everyone.

## → マッピングを作成する

マッピングとは、物事の関連性を図に表すことです。図に表した方がやりやすい人もいれば、図にするのは苦手な人もいます。どちらでも構いませんので、自分にとってやり易い方法をとって、スピーディにエッセーの骨格を決めましょう。

ここでは、Web Concept Map と呼ばれるマッピングで行ってみます。

先程のアウトラインと同じ題材を用います。楕円の中にメインアイデアや本論に使うキーワードなどを書き入れ、余白にはそれぞれを肉付けする言葉を追加していきます。



→ エッセーを作成する

アウトラインまたはマッピングで整理したフレーズやキーワードなどの情報を使って、エッセーを書き進めます。下記のサンプルでは、それらを太字で表示しています。

【エッセーのサンプル】

There were a **lot of important changes**, both **technological and cultural**, during **the twentieth century**. In my opinion, the **most important of these were the advances in medical science**. The development of vaccines and antibiotics, the increased access to health care, and improvements in surgical techniques saved many lives around the world and continue to improve the lives of us living in the twenty-first century.

**Vaccines and antibiotics** have saved an enormous number of human lives. For example, fifty years ago, many people died from polio. Now the polio vaccine is available everywhere. In the past, people could die from even simple infections. Now penicillin and other antibiotics make it easy to cure infections.

The increased **access to health care** has also improved people's quality of life. In the past, many people did not have easy access to hospitals or clinics simply because those facilities were not in their neighborhood. Now there are enough hospitals, clinics, doctors, and medical schools so that we do not have to worry about finding a doctor to see. Nowadays, more people have the opportunity to visit a doctor before they become very sick.

Additionally, improved **surgical techniques** have made it easier to treat many

medical problems quickly. Microscopic and laser surgery techniques are more efficient than older methods, making it is easier for the doctor to perform them, and easier for the patient to recover. Surgery patients can now return to their normal life more quickly than they could in the past.

**Everybody needs good health** in order to have a good quality of life. Advances in medical science have **improved the lives of people** all around the world. These are changes that are **beneficial to everyone**.

(283 words)

## 6. エッセーは難しくない!

→ エッセーは3つのパートで書く

エッセーは3つのパートから成っています。すなわち、序論・本文・結論です。

TOEFL エッセーでは、

序論 (3センテンス) + 本論 (3または2パラグラフ) + 結論 (3センテンス)

が基本とされています。

→ 序論 **Introduction**

ずばりポイントに触れ、スムーズに本論に入る助走です。少なくとも1センテンス、できれば肉付けして計3センテンス書きます。

序論のパターンは3つあります。例をとって解説してみます。同じ内容が、パターンによってどう変わるか見てください。

【1】一般論 → 少し具体的に → 自説

主題についての一般的記述

As the pace of modern life becomes faster, leisure time continues to become more important.

↓

主題についてのより具体的な記述

There are many different ways to enjoy

leisure time in my country.

↓

問題に対する自分の直接的な答え (core statement)

Personally, I prefer planning activities for my leisure time very carefully.

**【2】 反対側の話 → 反対側に対する異議 → 自説**

反対側の立場を考慮

Some people prefer not to make any plans at all for their holiday because they like to make their plans according to their mood.

↓

それに対する異議を唱える

However, I personally think that it is more important to avoid unnecessary hassles and prefer to focus on interesting things in my free time.

↓

問題に対する自分の直接的な答え (core statement)

I therefore prefer planning activities for my leisure time very carefully.

**【3】 ある立場をとる → 自説 → 具体例を挙げる**

立場を宣言する

I believe that it is most important to be able to do as many fun things as possible in my free time.

↓

問題に対する自分の直接的な答え (core statement)

Therefore, I prefer planning activities for my leisure time very carefully.

↓

その立場をサポートする具体例を列挙する

My specific reason for this is because I do not have many paid holidays and my hobby, scuba diving, needs a few hours to travel alone.

上の3パターンは汎用性のあるものです。何度か練習し、自分の中でパターン化できると、本番では「このパターンで始めよう」と思えるはずです。

## → 本論 Body

本論は、序論で自分がとった立場をサポートする文章を中心に、具体的な例を挙げて書き進める部分です。先に述べた時間配分では 30 分のうち半分以上の 16 分を本論に当てています。それだけ重要なパートです。理想的には、内容が異なる 3 つの例を上げ、パラグラフを 3 つ構成しながら（例が 3 つだから 3 パラグラフになる）重要なものから順に書きます。TOEFL の採点官は 3 パラグラフあることを期待して採点しますが、どうしても 3 つ書けない場合は、2 つで質を追求するよう努力しましょう。

## → 結論 Conclusion

通常の英文エッセーの結論では、本論で述べた全ての項目をまとめ、再度論点を明確にします。最終段階で「全体をまとめて主題をもう一度確認する」ことが読み手の理解を促すからです。

しかし、TOEFL ではそこまでは期待されていません。序論で述べた「問題に対する自分の直接的な答え(core statement)」を繰り返したものの、または、言い換えたものを 2 センテンス書きます。

## 7. つなぎ言葉で論旨の流れをつくる

### → 接続詞

単語同士、句同士、節同士、あるいはセンテンス同士をつなぎ言葉で、同格のものとしてつなぐ等位接続詞と、主従の区別をつけてつなぐ従属接続詞の 2 種類があります。代表的なものは、and、but、otherwise、so、therefore などです。

### → 転換語

接尾詞に含まれ、

- 反対のことをいう : However, In spite of
- 情報を追加していう : Furthermore, Moreover, In addition
- 例を挙げる : For example, For instance

- まとめる： Therefore, In conclusion
- 2つのことを比較する： On the other hand, In contrast

などの機能を持っています。

TOEFLに限らず、英文エッセーではこのような「つなぎ言葉」を臨機応変に使えると、テンポの良い論旨の流れを作ることができ、読み手にとって読みやすいエッセーとなります。

巻末に TOEFL エッセーに使える「つなぎ言葉」リストがありますので、是非ご参照ください。

## 8. 設問のタイプと対策を押さえる

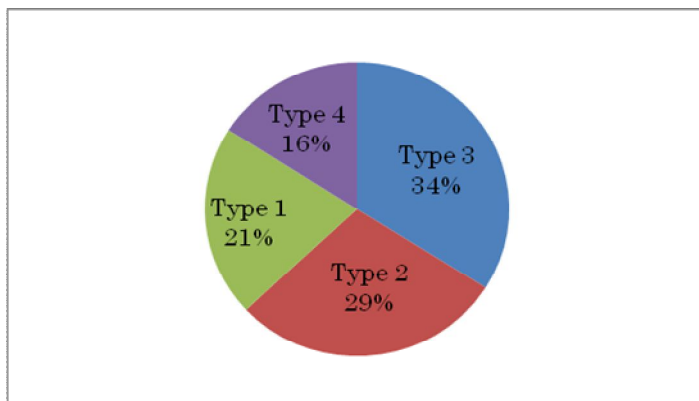
一部区分けが難しいものもありますが、設問（トピック）は4種類あります。前述の通り、問題は1つしか出されませんので選ぶことはできません。タイプ別の対策を押さえ、実際に書く練習をしておくことが肝心です。

### → 設問の4パターン

過去に出題された設問から、下記のように分類されます。

- Type 1 個人的好みを問う問題
- Type 2 賛成か反対か問う問題
- Type 3 価値観を問う問題
- Type 4 なぜなのか説明させる問題

全体に占める各タイプの割合



それでは、タイプ別に説明します。

### Type 1 個人的好みを問う問題

- Which do you prefer .....
- Which would you rather .....
- Which would you choose .....

#### 【対策】

このタイプは、個人的好みを聞いているので、比較的容易に取り組めるのではないのでしょうか。なぜそう思うのか説明すればよいだけです。一貫性のある例を挙げながら趣旨がぶれないよう注意します。

#### 【問題例】

Some people prefer to eat at food stands or restaurants. Other people prefer to prepare and eat food at home. Which do you prefer? Use specific reasons and examples to support your answer.

#### 【回答例】

回答例をみてみましょう。主張の主な部分を青色太字で示しています。論理の流れを追ってみてください。赤色は、各パラグラフの解説です。

**Although many people prefer to eat at restaurants** because they think it is easier than cooking at home, **I prefer to prepare food at home. I believe** it is much cheaper and healthier to eat at home, and it can be more convenient, too. (【序論】 反対意見について述べた後「私はこちらの方を好む」としている。その後で、理由を簡単に述べ、次の本論にスムーズにつなげている)

While eating in restaurants is fast, **the money you spend can add up. When I** have dinner at a restaurant, the bill is usually \$25 or more. I can buy a lot of groceries with that much money. Even lunch at a food stand can easily cost seven or eight dollars. That is enough to feed the whole family at home. (【本論】 反対理由その1：費用がかさむことを取り上げ、自分の経験から\$25以上など具体的情報を挙げている。更に、ランチ代の金額が一家の自宅での食材費に相当するなど、説得力を増す工夫がされている)

**Eating at home is better for you, too.** Meals at restaurants are often **high in fat and calories**. When you cook at home, however, you can control what you eat. For example, you can cook with low-fat and low-calorie ingredients. Restaurants also often serve big plates of food. You may eat a full plate of food at a restaurant “because you paid for it,” while at home you can control your portion size, serving yourself as little as you want. (【本論】 反対理由 2 : 外食の脂肪分やカロリーが高いことを挙げている。「勿体無いから食べてしまう」といった誰でも持つ心理についても言及し、説得力を増している)

It may seem more convenient to eat at a restaurant because you don't have to shop, cook, or clean up. At a restaurant, all you do is eat. **Cooking at home, however, can actually be more convenient.** There are lots of simple meals that don't take long to prepare. In addition, when you eat at home, you don't have to drive to the restaurant, look for a parking space, wait for a table, and wait to be served. (【本論】 反対理由 3 : 外食が便利だと思う人が多いが、そうではないという理由を挙げている。駐車場、待ち時間など複数の理由を挙げ、**cooking at home** の利便性を述べている)

People often choose to eat at restaurants because it seems more convenient. **I find, however, that cooking at home is actually easier, and it is cheaper and healthier as well.** (【結論】 序論で述べた自説をほぼ同じ表現で繰り返している)

(英文 : 293 words)

**Type 2 賛成か反対か問う問題**

- Do you agree or disagree with .....?

Type1 と似た部分もありますが、Type2 は「好み」を尋ねているわけではないことに注意です。賛成か反対かを述べ、事実に基づいた客観性のある根拠を本論で提示しなければなりません。

**【問題例】**

School should ask students to evaluate their teachers. Do you agree or disagree? Use specific reasons and examples to support your answer.

**【回答例】**

**I think it is a good idea** for schools to ask students to evaluate their teachers. It is good for the teachers, good for the school administrators, and good for the students themselves. (【序論】ズバリ、主題に賛成することを明言し、誰にとって有益なのか3つ挙げているので、本論にスムーズに入ることができる。以下列挙した順番に本論を進める)

**Teachers can or attain a lot of useful information from student evaluations.** They can find out what the students like about the class and what they don't like. They can learn what the students think is easy or difficult. They can discover which kinds of activities the students prefer. Generally, teachers can find out the ways they effectively reach the students and the ways they don't. **All of these things can help teachers improve their classes.** (【本論】冒頭で本パラグラフの主張を明確にし、次に、教師が得られる有益な情報を複数挙げている。最後に念押しをするように、得られる情報が何に役立つのか述べている)

**Student evaluations are also helpful for school administrators.** Student evaluations help administrators learn which teachers are most effective. The evaluations also give administrators an idea of why students are satisfied or dissatisfied with their school program. With this kind of information, administrators can work better with the teachers. As a result, **the administrators and teachers can work together to improve the school program where necessary.** (【本論】上のパラグラフと同様の書き方)

**Finally, evaluating teachers is a good exercise for students** because they have to organize their thoughts about their teacher. In writing the evaluations, students have to think about how they themselves learn best and what kind of help they need. This can help the students do better in class. Evaluations also give students a chance to develop honesty and responsibility. **Evaluations with real and useful information are valuable to the school** (【本論】上のパラグラフと同様の書き方)

Student evaluations can provide a lot of useful information for a school. Student evaluations improve the teachers, the school administrators, and the students. **For these reasons, I think they are a very good idea.** (【結論】序論の主張を繰り返し、最後に主題に賛成する旨を繰り返し強調している)

(英文 : 272 words)

### Type 3 価値観を問う問題

- Should .....?
- Which .....do you think is more important?
- Which do you think is better?
- Do you agree or disagree with .....? (価値観を問うような記述に対し)

形式的には Type2 と似たものもありますが (Do you agree or disagree....?)、Type 3 は Type2 のように賛成・反対を尋ねているわけではなく、「あるべき論」を講じなければならない設問です。これまでの中で一番論理性が求められます。

#### 【問題例】

Which do you choose – a high-paying job with long hours that would give you little time with family and friends or a low-paying job with shorter hours that would give you more time with family and friends? Explain your choice, using specific reasons and details.

#### 【回答例】

**At this time in my life I would definitely choose a higher-paying job even if I had to work long hours. If I want a good future, first I have to gain experience, move up in my company, and save a lot of money.** I will have plenty of time for friends and family later, after I get a good start on my career. (【序論】冒頭で明確に自分の立場を表明している。続いて、higher-paying job に関連してこれから本論で述べる内容を列挙している)

**When I finish school, I will have a lot of knowledge. I won't have any experience, however.** I can get experience only by working. I want a lot of experience so that I can be among the best in my career. **The only way to get experience is to work a lot of hours.** (【本論】自分の状況を説明し、経験を得るために長時間働く必要があることを説明している)

**I want to have a high position in my company.** I don't want to be just an employee, I want to be a supervisor, and someday, director or president. I can't do this if I work only forty hour a week. **The only way to move up is to work long hours.** (【本論】高いポジションにつきたいという願望 (価値観) を提示し、そのためには長時間勤務をこなすことが唯一の方法であると説明している)

**Living a comfortable life is important to me.** I want to have a nice house, fashionable clothes, and a couple of cars. When I get married, I want my family to have

nice things too. This takes money. The best time to save money is now, before I have a family. **The only way to save a lot of money is to work hard and earn a high salary.** (【本論】パラグラフの冒頭で自分にとって重要なもの(価値観)を提示している。最後の一文では、そのために一生懸命働き高収入を得なければならない、と説明している)

**A high-paying job with long hours will give me the experience, opportunities, and money that I want.** After I reach a high position in my company and have a big bank account, I can take all the free time I want to relax with friends and family. (【結論】再度主張を繰り返している)

(英文 : 294 words)

#### Type 4 なぜなのか説明させる問題

- .....What would you choose? Why? Use specific reasons and details to explain your choice.
- .....How would you use this XXX? Use specific details to explain your answer.
- .....Why do you think .....?
- What do you think that .....?

過去の傾向では出題頻度は最も低いタイプです。このタイプは、A か B かなど選択肢がないのが厄介です。最も取り組みにくいタイプかもしれませんが、広い範囲・分野からの具体例を出せる問題になっていますので、自分が説得力を持って書ける具体例を挙げて取り組みます。

#### 【問題例】

Films can tell us a lot about the country where they were made. What have you learned about a country from watching its movies? Use specific examples and details to support your response.

#### 【回答例】

**When I watch movies from other countries, I realize that people everywhere really are similar.** We may have different languages and cultures, but **we all want to get an education, need to make a living, and like to have fun.** (【序論】出だして設問にストレートに答えている。最後の一文では主旨の具体的事項を挙げ、その順番で本論に入るの

で読み手にとってスムーズである)

**Once I saw a Chinese movie.** The movie showed parents helping their children with their homework. My parents helped me in the same way. **Another time I saw a movie from Korea.** It showed mothers praying for their children to pass their entrance exams to good schools. The Korean mothers seemed as serious about their children's education as the mothers in my country. **Seeing these films showed me that education is a common goal in every country.** Children go to school and their parents help them with their work and want them to do the best they can. Therefore, **education is something we all have in common.** (【本論】 education という共通項目を主張するために中国・韓国と異なる二つの国の映画でみた経験を取り上げている。最後の一文では本パラグラフの主旨を繰り返している)

By watching foreign movies, **I also see the different ways people earn a living.** In some countries, people choose their careers according to their own interests and talents. In other countries, their parents choose their careers for them. But in every country, finding a way to earn a living is a major concern, and working hard is respected. Thus, **earning a living is another common goal.** (【本論】冒頭で本パラグラフの主題を述べ、また、最後に繰り返している)

**In addition, movies often show how people like to have fun. People everywhere want to be entertained and spend time with family and friends.** Different cultures may enjoy different types of activities, but all cultures enjoy some form of sports, music, and dancing, such as soccer, rock music, and ballet. As foreign films have shown, **everybody likes to have fun.** (【本論】上のパラグラフと同様。少し変化を付け、単調にならない工夫をしている)

**The foreign movies I've seen make it clear to me that no matter what the cultural differences are between countries, people everywhere have the same basic needs and goals.** (【結論】序論を少しアレンジして、最後に主張を繰り返している)

(英文 : 302 words)

## 9. 注意すべき、5つの文法ポイント

TOEFL エッセーに取り組む上で重要な文法ポイントを列記します。紙面が限られていますので項目のみとなりますので、文法解説書などで再確認することをお勧めします。

これらのポイントは、TOEFL に限らず、留学中の課題や論文、ビジネス上でのレポート類に共通する重要点です。

### 1. Transition (「つなぎ言葉」)

第7章でも説明していますが、エッセーを含む英語の文章は、つなぎ言葉を適切に使いながら、論旨の流れを明快にすることが重要です。付録は、TOEFL エッセーに使いやすい言葉のリストですので、活用してください。

### 2. Variety (バラエティ)

短いなかで同じ言葉を繰り返し繰り返し使った文章は、クオリティが高いとはいえません。ボキャブラリー不足でバラエティに欠け、面白みのない文章と捉えられてしまいます。主語、名詞、動詞に同じ単語を使い過ぎないように、注意してください。意味が似ていて違う単語(類語)を覚え、使っていくことが大切です。

例： discuss → argue, confer, debate, dispute

Discussion → argument, conversation, explanation

### 3. Parallel (subjects/verbs/adjectives/adverbs/grounds/sentences) (パラレル)

パラレルとは、「同格にする」ということで、主語・動詞・形容詞・副詞・動名詞・センテンスの中で格を合わせる必要があります。パラレルになっていることで、文章にリズムが生まれ、読みやすく理解しやすい英文章になります。

悪い例： You need both working and play.

良い例： You need both work and play

良い例： You need both working and playing.

悪い例： The movie was long and bored me.

良い例： The movie was long and boring.

#### 4. Sentences Type (文型)

2のバラエティにも通じますが、文型もバラエティに乏しいと、単調な文章になってしまいか、逆に複雑過ぎて読みにくい文章になってしまいます。この場合のバラエティとは、下記の4つの文型です。

A. Simple sentence (主語1つ+動詞1つの簡単な文章)

例： Television commercials are very influential.

主語

動詞

B. Compound sentence (2つ以上の simple sentence を「つなぎ言葉」で関連づけている文章)

例： Magazine ads are often overlooked, and radio commercials are easily forgotten.

Simple sentence 1

つなぎ言葉

Simple sentence 2

C. Complex sentence (simple sentence に従属節が加わった文章)

例： People listen to the radio when they are driving.

Simple sentence

従属節

D. Compound complex sentence (複数の simple sentence に従属節が1つ又は複数加わった文章)

例： Also many people listen to the radio during the day, adults listen only for news,

従属節

Simple sentence 1

and children listen only for pop music.

Simple sentence 2

英語力がつくると長い文章を書けるようになりますが、高い英語力を示したいがために、CやDを多く用いる必要はありません。CやDばかりの文章はネイティブの目にも「ヘビーで読みづらい」と感じます。むしろ、多用し過ぎないように注意しましょう。

Aの文型は大抵短い文章ですが、短い文章だからといって悪いわけではありません。長い文章と組み合わせ、効果的に使うことによって、インパクトを与えることも出来ます。

#### 5. Voice (active voice/passive voice) (能動態・受動態)

能動態は「～が ... する (した)」など行為を行う人 (場合によって人以外を強調した文章で、受動態は「～は...によって。。される (された)」など行為を強調した文章です。

能動態 例： **Parents must read books to children.**

受動態 例： **Books must be read by parents to children.**

覚えておきたいのは、「英語では基本的に能動態が好まれる」、ということです。能動態を「ストレート過ぎる」と嫌煙する必要はありません。受動態ばかりの文章は、「誰が」という行為の主体が弱まってしまうため、歯切れが悪く、ビジネスなどでは責任回避的な印象を与えることもあります。

全て能動態がよい、というわけでもありません。受動態は控えめに使用してください。

<b>■ 列挙する</b>	
第一に	First, first of all, in the first place, for one thing
二番目に	Second
三番目に	Third
最後に	Last, finally, in the end
<b>■ 付け加える</b>	
また	And also
そのうえ	What's more, besides
加えて	In addition, additionally
さらに	Furthermore, moreover
より重要なのは	More importantly
<b>■ 対比する</b>	
むしろ	Instead, rather
その一方	On the one hand
他方では	On the other hand
比較すると	By comparison
それに反して	On the contrary, in contrast, conversely
<b>■ 結論を述べる</b>	
従って	So, consequently, therefore, thus, as a result, for that reason
〜のお陰で	Thanks to
<b>■ 時を示す</b>	
最近	Recently, lately
遅かれ早かれ	Sooner or later
現在	Currently, presently, at present, today, nowadays, these days
今後	From now on
<b>■ 意見を述べる</b>	
正直なところ	To be honest, in all honesty, quite honestly
率直なところ	Frankly, frankly speaking, quite frankly
個人的には	Personally, as I see it
<b>■ 制約を述べる</b>	
〜である限り	As long as
少なくとも	At least

ある意味で	In a sense, in one sense
この場合	In this case
ある場合には	In some cases
現時点では	At this point, at this time, for now
よくても	At best
これまでのところ	So far
厳密に言えば	Strictly speaking
<b>■ 詳しく述べる</b>	
例えば	For example, for instance
つまり	I mean
言い換えると	In other words, that is to say
実際のところ	As a matter of fact, actually
事実上	In effect, in essence
実は	As a matter of fact, actually
特に	Especially, particularly, specifically
すなわち	Namely
はっきりいうと	More to the point, close to the point
<b>■ 話題を変える</b>	
さて	Well, now, then
いずれにしても	Anyway, in any case, in any event
ところで	By the way, incidentally
<b>■ 譲歩する</b>	
それでも	Still, yet, even so
しかしながら	However
たとえ～でも	Even if
～でも	Although
～と同時に	At the same time
～にも関わらず	In spite of, despite, notwithstanding
それにも関わらず	Nevertheless, nonetheless
確かに～であるが	To be sure
<b>■ 一般化する</b>	
一般的に	Generally
概ね	Overall, for the most part, by and large. On the whole, in many cases, mostly
基本的に	Basically, fundamentally, in principle, essentially

<b>■ 言及する</b>	
～に関しては	Speaking of, as for, concerning, regarding, in regard to, in reference to, when it comes to
～によると	According to
<b>■ まとめる</b>	
つまり	In short, to sum up, in conclusion, in sum
全般的にみて	All in all
<b>■ その他</b>	
多分	Maybe, probably, perhaps
通常	Usually
普通	Normally
もちろん	Of course
当然ながら	Naturally
明らかに	Obviously, apparently, evidently
残念ながら	Unfortunately
幸運に	Fortunately
ご存知の通り	As you now
確かに	Certainly
本当に	Indeed
はっきりと	Clearly
実際	After all
いうまでもなく	Needless to say
一方	Meanwhile
驚くことに	Surprisingly
ありがたいことに	Thankfully

## お問合せ先



英語英文添削センター

ABSOLUTELY CONFIDENT ENGLISH

<http://www.eigo-nikki.com>

email: [essay@eigo-nikki.com](mailto:essay@eigo-nikki.com)